



## 中海・穴道湖 くぼ地修復を

NPOが島根県知事に  
連携求める要望書提出

ラムサール条約登録湿地  
の中海・穴道湖の自然再生  
事業に取り組むNPO法人

丸山知事（左から3人  
目）に要望書を手渡し  
た松本理事長（同4人  
目） 12日、島根県庁

日本海新聞 2023（令和5）年9月13日（水曜日） 掲載

自然再生センター（松江市  
天神町、松本一郎理事長）  
は12日、干拓事業で掘り起  
こしたくぼ地の環境修復事  
業への強い連携を求める要  
望書を島根県の丸山達也知  
事に手渡した。13日には鳥  
取県の平井伸治知事にも要  
望する。

同センターは、中国電力  
の火力発電所で発生した石  
炭灰を、干拓事業でえぐら  
れた湖底のくぼ地に山型に  
覆砂して湖底の生態系回復  
などに取り組んでいる。

要望には、鳥取、島根両  
県や国でつくる中海会議で  
しゅんせつくぼ地修復の重  
要性を再検討▽中海会議と  
自然再生推進法に基づく法  
定協議会「中海自然再生協  
議会」との情報共有、意見  
交換▽くぼ地埋め戻し事業  
の連携強化―などの項目を  
盛り込んだ。

松本理事長らメンバー6  
人が島根県庁を訪れた。丸  
山知事は中海会議との連携  
は難しいとの見解を述べた  
が、意見交換の機会につい  
ては理解を示した。松本理  
事長は「中海会議の作業部  
会と関わりが持てたら」と  
話した。

（足立篤史）